

CKKD(慢性腎臓病)を

ご存知ですか?!

聖隷佐倉市民病院 腎センター長 鈴木 理志



日本では2年ほど前から新聞・雑誌やテレビで頻繁にとりあげられている「CKKD」という腎臓病ですが、実は世界中を巻き込んだ大旋風になっています。ある意味「メタバ」よりも深刻な健康問題である「CKKD」については是非とも知っておきたいです。

透析医療の現状

腎臓病がとことん悪くなると体中に毒素がたまる尿毒症になります。放っておくと命に関わるので毒素を除去するための透析療法を開始するのですが、これはずーっと続けなければならぬ治療です。ご本人・ご家族の生活にとって、そして医療費の面からも大きな負担となる治療です。わが国でこの透析を受けている方は2007年末現在27・5万人、そして毎年3・7万人が新たに透析を始めるため、透析患者数は猛烈な勢いで増加しています。これは世界各国で同様にみられる傾向です。

CKKDの誕生

ここまでは他人事と感ずる方も多いでしょうが、実はわが身に迫る大問題なのです。というのも、この27・5万人は氷山の一角にすぎず、水面下には人口の10・6%つまり日本では約1300万人の方が透析予備軍であることがわかってきたのです。しかもこの人達は心筋梗塞や脳卒中のような直接命に関係する心血管病を合併しやすいことも明らかになりました。昔から腎臓病というのはひどく難解な分野で、勉強したはずの医師ですら見当違いの判

断をしがちです。世界中が直面しているこの危機的な状況を改善するために、まずは誰にでもわかりやすい腎臓病の考え方に切り替えていくことが早急に求められました。このような経緯から2002年に「CKD・慢性腎臓病」という世界共通の病名が誕生したのです。

つまりCKDは新しく発見された病気ではありません。従来分類にもとづくすべての腎臓病をひくるめ、おまけに腎臓に関連するちよとした異常までも含んだ総合的な病名なのです。

CKKDの診断

では、具体的にどのような人がCKKDに該当するのでしょうか?表1に示す条件を満たすとCKKDと診断されるのですが、ここでいうGFRとは腎臓が老廃物を排泄する機能をあらわします。GFRは正確に測定するのが難しいので、現在は性別・年齢・血液クレアチニン値の3項目から近似

CKDの定義

- ① 尿以上、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らか — 特に蛋白尿の存在が重要 —
 - ② GFR<60ml/min/1.73㎡
- ①②のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続する

表1

はじまり透析・腎移植に至る全ての段階のCKDに対応可能です。また小児科も腎臓病が専門のため、あらゆる年齢層のCKDに対応可能になります。この特長を十分に発揮しCKD診療に役立てるよう院内体制が整いつつあります。

腎専門医に紹介する基準

- 蛋白尿が2+以上
- 蛋白尿、血尿ともに1+以上
- GFR<50ml/min/1.73㎡

表2

腎専門医の役割

値を計算する方法がとられています。これをeGFRとよび、正常値は90以上です。つまり尿検査で蛋白尿を中心にチェックし、血液クレアチニン値をもとにeGFRを計算すれば世界中どこでも簡単にCKDの診断がつくということです。もちろん、町のかかりつけ医院でも健康診断でも診断できるわけで、煩雑な検査や専門知識は不要です。

しかしCKDと診断された人のうち表2に示すような場合は、何科の医師でも大丈夫というわけにはいきません。われわれ腎専門医の出番になります。各種の検査を駆使することで、単にCKDという診断にとどまらず、もっと精密な診断を下したり、あらゆる治療法を組み合わせて腎機能低下を防いだり、やむを得ず透析になるにしても負担をできる限り少なくしたりなど、それぞれの段階に応じた専門的な作戦を立てていくこととなります。

聖隷佐倉市民病院腎センターは、尿異常に

●ご相談下さい。

記事関連についてのご質問・ご相談は聖隷佐倉市民病院までお問い合わせ下さい。(電話 043-486-1151)



聖隷佐倉市民病院 健診センター



人間ドック・各種オプション検査・健康診断をご受診いただけます。

【お問い合わせ】 TEL.043-486-0006 FAX.043-486-1687
mail : sk-dock@sis.seirei.or.jp
住所 : 〒285-8765 千葉県佐倉市江原台 2丁目36番2



聖隷佐倉市民病院

〒285-8765 千葉県佐倉市江原台 2丁目36番2
TEL.043-486-1151
FAX.043-486-8696



映像で上記記事を説明しています



URL: <http://www.seirei.or.jp/sakura/>

↑QRコードから聖隷佐倉市民病院の情報をチェック